

バスト週報

第1483号
昭和五十年年
十月六日
月曜日発行
Director
Koiti Mori
Redator
SHOHO
Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone: 340
BASTOS
E. S. P.
Anual,
Cr. 1
65.00
Adiant.

温室 41

副業

○百日余の大ヒツカである。農家の苦悩いかはかりであろうか。吾々は雨が降らぬからとて直接困りはしないが、それでも身体が乾いて行くように、かるい頭痛のまいを催すことがある。

○霜害あとの大千魃だから農家の焦燥(へしよ)うさうさか思いやられる。学生が小遣かせぎにアルバイトをやるが、とてそんな目先きの消菜ぐらいでは追っくまい。もっととアルバイトといっても体を張ってやる限りでは可なり収入にもなるさうだが、学生本来の勉学と両立しないことになっても困りものである。

○農家でも本業の容積と、家族の比重では剰余の労働を他にふりむけて、アルバイト式別途収入を計る方法があり、たとえばブラ拓製糸など婦人の仕事の多いところでは、バスター周辺、ツパン方面からも手芸者として雇傭し、朝夕交通の便をはかっているほどである。それは双方にとつて条件が揃っているからたいへんけ、こうな首尾であるが、実は農家にはもっと合理的な別途収入がある筈で、わかり切った話ではあるが、次の危期に備えるために前進していただきたい。

○いつも好例としてお名前を借用するが、バスターではグロリアの松森さん、吉田さん、フアルツの豊島さん。これらの方の営農方針は多角農といった方が適当かも知れないが、やはり主力といえは養鶏であろう。長期の経験から波乱の多い卵価変動に備えて果樹、加糖、牧畜等を併営し、果樹園経営などは少なからぬ営農費がかかるとも拘らず、収入も頼しいもので、卵価下落時にも不況の風はどこを吹くといった豪勢振りである。

新場の内、吉田、豊島、両氏は数万の珊瑚をもっているが、七月の大霜には完膚なきまでにやられた。普通の経営ならここで傾倒してしまつたところだが、外に果樹があり、植林があり、牧畜があるので、損傷の殆どが比較的軽微である。松森さんには珊瑚はないが、何万本というポンカンがある。ポンカンは寒気によく耐え、何十万クルペロス収入をもたりますので、実に悠々たる豪農ぶりである。養蚕の例ではポンフィンに奥山さんがある。家族だけでけ手不足と、常時数人の労力を準備

UAKA

WAKAMOTO

ガン

予防は毎日

FATOR PREVENTIVO DO CANCER
ENZIMAS + COMPLEXO B + MINERAIS



百倍強力

乳児の入浴には
わかセッケン
ワカクリーム (説明書入り)

備しして大量生産を目標している。苗けたとえ減価しても鶏卵のように換をする場合はないといつてよく、増産によつて収入をコントロールする。本業の外に果樹の栽培も怠っていない。

○以上掲げた例はほんの九牛の一毛で、数百年の養鶏家、養蚕家はそれぞれ救急に備えて何らかの方法を講じているとは思いますが、ゆるがぬ土台を築くために、しっかりした副産業を研究され、実行にうつして頂きたい。

○養鶏は狭い土地で筆足りると考えられた時期もあるが、今日の如き時々不況の風をまともに受ける時代となつてみると、副産業を行うだけの土地を必要とする事になる。

松森さんのように十城(あるいは二十城とも云う)以上の果樹園を造成するには少なからぬ費用と経費を要するだろう。しかし、彼らはそれをやってのけているのである。豊島さんも仕上げているのである。やる気があれば不可能ではない。○先日新聞の「コチア週報」欄で見たことだが、アバカテ苗の分譲で苗木が霜で枯れたため、延期という通報である。アバカテは熱帯植物に近いものだから霜に弱いのである。その論木になれば相当抵抗力はあろうと思う。その論議とけ別にアバカテの輸出向き種類は農家の

の副産物として着目されていることを知ったわけだが、バストスでも松原市長時代に輸出用のアバカチの研究があり、視察団を派遣したことがあった。但し、その語は立消えになつたらしく、後の詳をさかたない。

○ひとりバストスだけでなく、農家の副産物として、それぞれ地域地域であれこれ考察されているのである。パラナの珈琲地帯でも大豆などを研究していたのだろうが、今日では珈琲にかわる主産物として躍り出て来た。聖市近郊の蔬菜作りは、卵価がよければ肥料目的の養鶏を取り入れ、卵価が低落すれば、さつこと養鶏を切り捨て、自由奔放である。ところが專業養鶏のバストスでは、そんな器用な放なれ業は出来ない。卵価不況の時代は、じつと我慢をして苦痛を耐えねばならぬ。その苦しい時期に生計を半ば保証してくれる副産業があれば、いかにありがたいことであろうか。すでに何%かの人達によってその経営の合理化が実証されているのである。○何を副業に選ぶべきかは、各自の自由である。他人の真似をしてもさしつかえないし、独自のものを取り入れてもよいわけであるが、農業とかけはなれたものであつてはおかしいと思う。アモンドインのように一年に二回も収穫できるものもあるが、できれば多年生のものが望ましい。たとえば柑橘類の如き植樹後四年目に結実するが、苗代、消毒代その他管理がかかる。つまりボンカソ園を造成する迄に資金がかかるが、今時裸で金儲けのできるのは相模ぐらいなものであろう。

柑橘の外にクルミ類も有望のようだ。

○バストスもあと三年程で開植五十周年を迎えようとしている。地主たちがこころでバストス又百年の計を打ち建てねばならない感だが、各自の家産を不動なものとするためには、養鶏一本槍の危険性をカバーするために副産業設定を急かされるよう、新しくもない提案をくり返すものである。(了)

系音

左右両立

○北朝鮮と南韓が統一されればよいとか、その可能性があるという議論があるようである。京成平壤間で腹の探り合いをしてきたこともあつたという。朝鮮全体が一つに合体されることは朴正熙が比の金日成(共産)に譲るか、又はその反対になる場合以外には條件はない筈である。

欧州でいえば東独と西独が無条件で元の独逸になれないのと同じである。もっとも朝鮮の場合、朴正熙は終身大統領に存続できる様に憲法(又は大統領令)を改悪してあるのだから、ほんとうの意味の民主主義国ではなくなつてはいるから、南の方から手をさしのはせば

オリンピックピック印 日本製 釣り道具

いよいよペスカの好期となりました。日本製のオリンピックピック印の釣道具をご存知ですか？

全部金属製、それも絶体にサビのない鋼鉄で、軽快に伸びる釣竿ノ、故障知らずの巻き取り器、パール水口で実物を手にとってご覧下さい。

世界中のペスカドールの羨望のまよぺスカ道具オリンピックピック印をどうぞノ

聖市、ガルボン、フェーノ街
輸入元

遠藤貿易株式会社

合併はできない相談ではない。一般国民は、よい政治をしてくれれば、どっ方でもよいと思つてゐるかも知れぬ。現在のコレアでは北であれ南であれ、自由というものは全く拘束されているといつてよい。恐くは息の根の止る位陰湿な空気であろう。

○独逸といひ、朝鮮といひ、自分の勝手に東西に、又は南北に分れたものではなく、第二次大戦の米ソの巨大な力関係によつたもので一種の運命であつた。ポルトガル、チリなどを共産、民主の政権争奪が力によつて示される通り理窟抜きに一蓮托生というわけにはいかぬのである。日本やアルゼンチンなども共産政権を認められている国では、何時の日にか共産勢力が生長して、民主側を押し倒すこともあり得るので英国に於ける労働と保守、米國に於ける共和と民主の両党の政権争斗とはわけがちがい、共産側が武力を握ればベトナムのような結果にたつことはすでに実証済みである。日本の場合だと大都市の知事や市長は共産党にとられても国政の場合なれば、四党が一丸となつても自民には勝てないので、近き将来共産党独自で政権を掌握することなど夢物語りであるとしてゐるようだが、ブラジル、英米の如く非台として共産を朋友視しない方が安全と云うべきであろう。左右両立はあり得ず、共存は内乱のもとである(了)

系音

ブラジルの最初の足跡を印した人達

二十四回 故 鈴木南樹翁の遺著から

リオ市日本商店の魁

明治三十九年九月、サンパウロ市に蓋を開けた藤崎商店「O Japão em São Paulo」の繁昌振りを実見した海外練習生大平善太郎は羨望に堪えず、倉惶として日本に帰ったのは同年の十二月であった。噂は石山からふり撒かれた余り芳しくない噂の呼吸抜きの意味もあつた。と云う者もあるが、とにかくあの時代に選抜されて、海外練習生としてブラジル迄来る位の人物であるから、操行上非難は別として、眼から鼻へ抜ける位の素早い智慧もあり、持って生まれた商賣上の野心も人並み以上にあつたことは争われない。

大平の故郷は伊勢であつた。ところが聞きかじりである。父の三次は彼以上に野心家であり、人物も一と柄大きかつた。ついで息子の話を聞くと、

「後から億も行くと云つて商品萬端の準備を手伝つた。彼が猿橋伝、豊島昌の両氏を伴つて渡伯したのは翌四十年八月であつた。

大平とは帰朝前申し合せがあつたので、明徳梅吉は直ちにサンパウロからリオ市に駆けつけた。つまり、リオ市最初の日本商店は出資者であるから無論大平が大将に相違ないが、

滞伯一年の経験者である明徳の意見が大いに役立ちました。重宝もこれだ。先ずアベニード、セントラル（現存のアベニード、リオブランコ）五十番の家を借りた。リオ市の小売店はオビドールを第一とするが、アベニード、セントラルでも、サンパウロ市の「O Japão em São Paulo」より商品の内容は兎

に角華やかし。且に於いて一ト柄大きいと思ふべきである。如何にも大平善太郎らしいと思ふ。

彼ら四人相談の結果、十月一日に開店と定め、商店の名を日伯商會と名付けて万事道場なからんため着々と準備を進めつつあつたが、日本商店が開店されるという噂を聞いて、見物高なわりオカが早くも店前に押し寄せた。

「オイ、開けて見せろ！」

「何故早く聞けんのか？」

「愚図々々するな、お前達は日本人じゃなからと轟々と叫んで聞かない。なかには無理に商品でござつた返して居る店內に侵入して来る者さえある。大袈裟に云うと独逸軍がフランスをインバゾンした様な勢である。こ

うなつてはもう叶わぬ、まきよ蓋を開けてしまえと云うことに決定し、まだろくろく陳列棚の整理もつかない九月二十五日に開店してしまつた。前景気がよかつた又予想はしてしたが、実

際ほそれ以上の人がかりであつた。リオ市は人口が多いたけサンパウロ市の藤崎商店などの比でも及ばぬ程の大賑わいであつた。店に頼みもしないのに八人の查公が出張つて店の内外の整理警戒をしてくれるという大袈裟なものであつた。従つてあまり多くもない商品が忽ちの内に売り切れとなつてしまつた。大平善太郎のことにあつた。どうせ遺算段の擧句に持つて来た商品のことであらう。貴本の豊富に藤崎商店の様に電報一本でどうにでもなるという融通性が無い。惜しいかな売

り切れとなつても後が続かなかつた。そしてクリスマス目当の品物がなくなつてしまつた。明徳梅吉の話であるが、かう空になつてしまつた店にお客さんか来ても、ポルトガル語がわからぬから、

「ノン、テン」

一点張りである。精々存伯一年の明徳あたりでも

「ヴェン、マイス、タルデ」

位が所である。これではお客さんの方で愛想がつかせしめよう。二度目の商品が着いた頃には物珍らしさも少くなり、粗雑な日本品に

対する信用も薄くなつて来た。今度は商品はあつてもお客さんが無いと云うような、奇怪至極ではあるが、実は当然すぎる現象を呈するに至つた。おまけに港土重來を約しはしたものの、大平善太郎は数カ月間の売溜金を、

VENDE-SE

1 TERRENO SITUADA situada a

Rua 7 de Setembro, perto do ginásio São José, medindo 12.50 X 27 ms. e/ 1 barracão de 8 X 12 ms. coberto de telha e piso de tijolos

△ Propriedade de D. Etna Nulti Molina Rua Barão do Rio Branco Fone 228

住宅地売ります

場所

オルアセッテテ、セテンポ

サンジョセ中学校近く

面積

十二メートル半 X 二十七

建物

バラコンー棟

八メートル X 十二メートル

屋根はカワラブリキ、

床はレンカ敷、

御希望の方は左記へ

御連絡下さい

ルアバロンテリオブランコ

D. エトナ・ナウチ・モリナ

電話 二二八番

か、渡って日本へ帰ってしまった。うまい汁を吸われた後の日伯商會はさながら煮出した後の殻の様になってしまった。明徳梅吉などはサンパウロ市の大きな夢葉工場から誘いの手に乗って逃げこしまった。いや逃げ出したのでなく、後の始末を立派につけて誰でもやって行ける算段をつけたる後に出了たというこ

(二)

私は商會には全々素人で何も解らないが、大平の日伯商會の経営難に陥った色々の原因の内、リオ市に玩具類は別として、日本製陶器類などはすでに早くから外国人の手によって取り扱ってあったということも見逃してはいけないと思う。ブエノス・アイレス市などでも瀧波商店が初めて出た頃既に、ユダマ系フランス人商店で大がかりに日本品輸入しているものがあった。それがどうしても瀧波商店の輸入種類より安いという様な話を、あの当時小さな古川大行などと共同で聞けていた。凡井三次郎がこぼしていたのを聞いたことがあったが、リオ市にも同様な困難があったのではないかと思う。

とにかく日伯商會の経営は思うに任せなかつた。豊島昌が日本貿易に鞍替えしたのも人争上の問題もあつたらうが、一つに大平の資金難から来る搾取主義が煮つたのではあるまいか。

このままにしては例れるより道はない、何とか開店の方法を講じなければならぬと云うことで、大平善太郎の父三次、竹細工職人杉原繁太郎、店員として峰谷吾輔などを伴って渡伯したのは明治四十二年であつた。

ブラジルに対する日本人に関する考証など当に在るものは少ないが、この大平三次については伯利阿爾特報の年鑑には一行も費していないし、聖州新報の年鑑には、明治三十八年の前に「商業家大平三次采伯した」とあり、明治四十年の欄に「伊勢仙助、大平三次、福

原五郎の諸氏渡伯した」とある。これは大平三次のことではなく、何れも其の子善太郎のことである。只僅かに「本邦海外発展史」に「大平はリオに於いて初最の商店を経営した男だが云々」とと眞実を伝えているに過ぎない。此の種の刊行物をなす人は、もう少し親身になつて調査すべきである。

三次は其の子善太郎をしてリオ市に日本人最初の商店を開かした人だけであつて、何時も「この他がリオ市日本商店の最初の開拓者だ」といふ頭があり、實際にも息子の善太郎などと違つて天下国家を話す気概があつて、萬

御 礼

金 一 封 也

右、特別の御志により御寄附下さいますました。有難く御礼申上げます

バストス博物館

建設委員会

プ・プレシデンテ市 草原秀雄様

御 礼

一、第一回バストス相撲大会の土俵入化粧廻し三枚

二、バストス入植当時の諸道具 二点
右、御寄贈下さいました。厚く御礼申上げます

バストス博物館

建設委員会

プ・プレシデンテ市 草原秀雄様

更利益一点よりする商人ではなかつた。従つて彼は山縣勇三郎の向うを張つて、「何？山縣が」という腹があり、実行の有無は兎角として水野龍がやり、放しになつていたりオ、デジヤネイロ州マカ工郡サント、アントニオ植民地の本契約を、ラファエル・モンテロと共同で結んだ如き、一億万円の資金でグリナバウ湾理立案を立てるなど話だけでも頗る痛快であつた。

多少の商品と杉原、峰谷を同伴して「助け船」にやつて来たというものの、こういふ三次の性格が商店経営に成功するわけはない。忽ちの内、峰谷は別れて自う小さい商店を開き、杉原も独立して竹細工をやり出した。日伯商會の窮地に陥りしは云わずして明らかである。

(三)

通訳五人男の嶺昌が移民の通訳に愛想をつかして、大平の商會に使われたのが明治四十三年の始めであつたらう。嶺との相棒に塩川伊三郎が居た。彼は海興のイグアツベ植民地に入つた藤田克己と共に、伊藤農学博士を頼んでアルセンチンに行ったが、洋妻を持つてゐる佐土が彼らの来ることを望まないが解つて、止むなくブエノス・アイレスから引き返して、サントスに上陸したのである。第二回移民

を出て、リオ市に行き、大平の店に働いていたものである。

塩川は後に日貿を引き受けたりして、信州の実家は資産家であるだけにとつごつした人柄は商人としてはどんなものであるか？。嶺に至っては勿論算盤を握って店頭に客を相手とする様な器でない。況んや大平の店の様な遠縁算盤で商勢を打開しようとするか如きは以つての外である。彼らは忍ちにして行詰つてしまつた。

丁度その大野基尚はシャタイ耕地紛擾のあたりを食つて、飛び出したか、追ひ出されたか知らないが、リオ市に行つてぶらぶらしていた。何んでも大平がモンテ・ロと共同で、リオ州と、水野龍が投げ出したマカ工植民地の契約をしよう仕様として居た廻りので、ナンパウ州の農生活をしたという大野が、大平と接近する機会を得た。

大野の口にかかるとどんな小さなことでも勿体がつき、大袈裟になつてくる。そのいかに神妙らしい態度が大平なことの好きが大平の眼を引いた。大平も大野も大袈裟、大平が三つ並ぶのも何かの縁縁であろう。

私が「事報に書いた本記事には、大野と嶺とが一所に働いた様になつて居るのを見た大野松子夫人は大いに憤慨して、黒石社長に抗議をして来た。しかし内心は平の相違よりも、大野の性格に対する私の遠慮ない批評が気に食わなかつたのであろう。その抗議の一部を抜いてみる。

「せめて植民地契約の出来るまでよいから店の看板を取りたくない。どうかして君達夫婦で経営してくれないだろうか？。その上私も呼び出され、静まり返つた店接間で老人大平が涙ながらに頭を下げられたの頼みに私は胸が一杯になり、半分は夢中で男二人が結び行けぬ断末魔の店を、私共はせめて契約成立の時までと固い決心で引受けたのでした。

この文面にも夫妻共通の勿体ぶつた点を暴露している。「静まり返つた店接間で老人大平が涙ながらに頭を下げての頼み！」これはなかなかの名文である。大野は何らの商取引の経験もなく、資本もない浪人である。それを千軍萬馬の間に往來した大平が、大野のどんな所にほれこんだものか知らないが、泣いて頭を下げたというのである。これでは大平は芝居をやる男でなければ、極めてありふれた小人物になつてしまふのが残念である。

私が噂話をして「嶺と大野が大平の店を食つてしまつたという者がある」と「？」にして書いてある文句に対し、「……店のありたけの品を少しづつ売つては、一日も長くこの店をつづくようにと出来がたい努力をしたのです」と少しづつ売つて、一日も長く此店のつづく様に努力したと、自ら私の批評を肯定しているのは気の毒である。云うまでもなく、私の食つてしまつた云う意味は、不正をした

と云うことでなく、松子夫人自白したような事実を指したものである。本記事に対しては大野自身からも、日本から時報社に名譽毀損だとか例の大袈裟なことを云つて来て黒石社長を威嚇したので、時報社は本年三月二十日に早速現地に行つて調査したなどとお茶をにごして、いい位な取消文を書いて居る。

大野の云う如く大平の店を売つたと云う。リオ市ゴンサルベス、チーアス通りにバザール、シャボンなどという店はない。それを麗々しく書いてよこす大野も大野だが、大野の云うまま如何にも真実らしく取り消す時報も時報である。大平の店の始末は私が後に書いて居る方が正しくもあり実際である。

私は本年六月のキングの内にある大審院長長島毅の「一つの道」をよんで、ふと大野の心情に思い至つざるを得なかつた。「民事の裁判でいへば原告は原告で、被告は被告で、各々自分の都合のよい事を主張します。刑事の裁判であれば、被告人はなるべく罪が軽くなるように自分の都合のよいことを主張します。そして判決に対して銘々自分の立場から攻撃したり批判したりします。」

銘々自分に都合のよいことを云つてはならぬ。これは私の立場に對しても云い得る。しかし私は本稿を書くにつけては少くとも虚心坦懐であり度いと努めて来たつもりである。

御案内

来る十月十二日(日曜)子供の日に

夜七時半より

綜合会館に於て、

バストス日伯文化協会御後援のもとに、

日語学校児童学芸会

催しますの何とぞ御參觀下さいませ

すよう御案内申上げます。

一九七五年九月

バストス 日語普及会

会長 中浦 三三司

各位様

私は決して大野を悪く云う考えなとも頭ない。大野と私とは三十年來の知合である。若し私の書いてあることに間違っている点があれば、大野は黒石村長書面を出す前に私に真正面から、

「鈴木、お前の書いていることは間違っている」と言つてよこすべきである。どう云つて来ない所に大野の心の底にアルグマ、コイザ（何物）があるのではないか。私は大野に同じ上塚周平や加藤順之助の苦情と批判を長い間否認して来たが、今日に到つて顧みるに、それは皆私の大野贖買のためであつたことを悲しむものである。

つづく

バストス週報歌壇第七回分

送者 森 重 扶 美

- 霜害の後に起これる野火にして痛む農家を追い詰むること
- 解剖の雛を示して怠らず注意をせよと技師に言わゆる
- 病弱に一世短かく終えし夫を注一途の子が願しむる
- 友どろの多き吾子にて街上に会えは氣易く声を掛け合ふ
- 庭隅を除草し居れば土塊とまごうダリアの子根の出ず
- 貝 田 久 子
- 煙とも雲とも分たぬ空にしてこの幾日か日射しは鈍し
- 手許より餌をくはるに向いなる鶴立ち騒ぐ鶏舎のあした
- 餌をやる双手の疼くこのあした攝氏三度の寒さとなりて
- 山火葬のパラナに起ると聞きしより我身迫きも氣遣う明け暮れ
- 土 井 は や し
- 望郷の念いを抱き紫雲英草を地ををしらぬ赤土に詩く
- いたわりの言葉のごとくシユベールは疲勞の体にはとほしるなり
- 手術後の痛みに向めく娘の声は看取れるわれの眼くぼます
- 浦 川 つ ぼ み
- 鋪装路の真正面に出し月に突きささるごとと車は走る
- 身に沁みる寒き朝もいけ花に打込みますは命尊く
- 霜に枯れしマモン樹あわれ乳房にも似たる青実も有たざるべし
- 漸くに咲き初めし花をつみ取りし無心なる孫は叱りもならず

カルダス、ノーバスにて
森 重 扶 美

FLORA BASTOS

T. MORIMOT & FILHOS LTDA.
Rua Duque de Caxias 524-F, C. Post. 171
Fone; 29 E.S.P.

養鶏不況時に備えて果樹栽培を果樹園成功の秘訣は良苗かつ農林省公認の森元農場の苗木をお送り下さい。

センソンを巡回致して居りますから宜しくお願ひ致します。

果樹一切の苗木並に庭園用樹花木類一切の御用に応じます

森元苗木本舗

電話 二九番

FABRICA de GRANITO

Av. Rio Branco 9/n C. Post. 23, Fone 515
Adamantina E.S.P.

大西文吉 邦函 二一三番
電話 五一五番

大西石碑工場

古く墓の修理も致します

石 白 もち 白
胸 像 石 燈 籠
墓 碑 記念 碑
日本式及ブラジル式

整体術とは

読んで字の如く体を整える方法です。頭のこっぺんから、足の爪先まで、血の循環をよくする術であります。

○頭痛。めまい。立くらみ。神経痛。リョウマチ。不眠症。足、腰のいたみ。ゼンソク。肩のこり。などの血液の循環からくる一切の疾患に特効です。

一度お試し下さい。昼夜ともアテンションいたします。

ルア・マレシャル・フロリアーノ 二四九

榎 は や の

電話 三二六〇番

- 「せせらぎの音をあつめて湯の川は」
- 歌友の詠みたる湯の川ぞこれ
- 遠く来し温泉郷は朝緑に蔽われ紅き花燃えて咲く
- 湧き上る蛙の声に聴き入りぬ温泉宿の夜の静寂を
- 湯に没る個室の白き清々とかくありて尚こころは癒えず
- さざ波も立たぬ湯の池澄み徹り浸すわが掌の不気味に白し
- 忘れし野鳥の声のさまさまに名残りつきざる山のボゲーダは

ノストラダムスの大予言は

当ると思えますか？

(No. 1)

来る十一月の初めにシネバストスに於いて特別に館主の好意で上映される物凄く高価映画、東宝作品「ノストラダムスの大予言」は全世でひっぱりダコのベストセラードろうだ。ノストラダムスの予言によると、この映画のように地球の破滅までにあと二十五年ということになる。

筆者は予言などは信じない、否、信じられないが、ノストラダムスの予言の翻訳者は、この予言を信じて翻訳したものであろう。以下は翻訳者の五島勉氏の説を文香から転載してみよう。

「大予言を書くまで」へさあ行け。ここにノストラダムスがみずから書いた神秘的な本がある。お前の未来への道案内には、これ一冊で十分だろうよ。

ご存知と思うが、ゲーテの「ファウスト」の冒頭に近い部分に、右のような文句がしるされている。

私は学生時代（昭和二七年）寝ころんで文庫本を読んでいて、この文句にぶつかつた。いま思えば、これがノストラダムスとの最初の出会ひだった。私はなんとなくハッとして起き上り、どうせ学校へ出ない不まじめな学生だったから、図書館へかよつて資料をさがすことにした。

そして、まず英国の古い人名辞典に、こんな記述をみつけた。

「ミシユル・ノストラダムス、フランス生まれの医師にして予言者、四行詩による予言書へ諸世紀を預す。アンリ二世の死その他多くの事件を予知し、シャルル九世の侍医となる。一五六六年没」

また、同時にみつけた一几四〇年発行の仏文の解説書には、こんな記述もあった。

「われらフランス人は、いまナチスの鉄鎖のもとにある。しかし、彼らの全面的打崩壊は間近い。なぜなら三百五十年前、ノストラダムスはヒトラーの自滅と連合軍の勝利を、諸世紀に書き残したからだ。」

この予言は実現するであろう。彼によると、ルイ十六世や、ナポレオンの崩壊したのと、同じように」

私は実に妙な気分になり、だんだんと、ひきずりこまれた。学校を出、週刊誌の特集書きを業とするようになった。ひまさえあれば資料や解説書をあさつた。

国内で借りられるものは借り、ないものは洋書屋にたのみ、たまたまフランスに留学した後輩からは、「諸世紀」の最も古い復元版

の全コピを送ってもらった。それを辞書と首。引きで読みながら、私はノストラダムスの予言詩の少くとも現代までの部分か、ほとんどピタリと的中していること、彼がどうやら本物のおそろべき大予言者だ。たうしいことを、次第に確信せざるを得なくなつた。

とくに私を戦慄させたのは、英国に伝つたという異本の一節である。そこには「女が船に乗つて空を飛ぶノマもなく大王がドルスで殺される」という詩が載つていた。

その時はハッキリしない詩だと思つて読み過したが、その一年後、テレシコワ嬢が宇宙船に乗つて飛び、さらに四ヵ月後にケネディ大統領がダラスで暗殺された。

ダラスとドルスは、たしかに発音もスペルもちがう。「船で飛ぶ女」も、だれか別の女性が高い地位に昇ることを象徴したのだ、と

という解もある。しかし、ともかく私はふるえあがつた。物書きとして、これはなんとか本にしてみたいと考えはじめたのはこの時だつた。

それが実現するまでには、それから十年近くかかつてゐる。まがりなりにもフランス法を専攻したとはいへ、トッブ屋稼業のあい間にもむずかしい原詩を読みきるのは大変だつた。

一応、全文の解説を終つたのは昨年の春、祥伝社から出すことがきまつて執筆に入つたのは昨年の夏からである。



HOTEL CALDAS NOVAS

ホテル・カウダス・ノーヴァス

Yoshio Kurokawa

黒川 義雄

Rça. Mestre Orlando 250 Caldas Novas, Goias - Fone 146

リオ ケンチへ御清遊御まち申し上げます
伯国一の風光明媚、湯の川をなす温泉郷、
カウダス・ノーヴァスへお遊びの節は是非
日本食、おふろ付の当館を御利用下さい

同社「ノン・ブック」編集長賀氏は、もとカッパブックスを育てた人で、出版人の目からノストラダムスに大きな関心をよせていた。最初、ほかの歴史上の予言者もあわせて紹介したいと私が考えたとき、ノストラダムス一人にしぼるべきだ、と貴重な示唆を与えてくれたのも同氏だった。

警告とみる若い読者たち

こうして昨年十一月、「ノストラダムスの大予言」が刊行されたわけだが、その反響はすさまじかった。ある本屋さんでは、数百冊配本されたものが、たった三時間なくなつた、とかいう話もきいた。

版元も私も、需要の激しさには呆然としたほどで、刊行後四カ月たらずの現在、すでに百万人からの方がこの本を読んでくださっている。

私はこのことを、物書きとして素直にありがたいと思う反面、ひじょうに後味が悪いと思う。英会話が礼儀作法の本でも書いてベストセラ―にでもなつたのなら嬉しいかもしれないが、これは人類終末を暗示した深刻きわまりない本なのだ。

それも抽象的な終末論ではない。ノストラダムスは残酷なほど具体的に、大気汚染と水汚染、それがひきおこす気候の激変、人口の爆発と飢饉、火を吹いて空を飛びまわるもの、による大戦争と大量殺りくなどを、人類終末の前兆としてつぎつぎにうたいあげる。

そのあげく、「一九九九の年、七の月」に空から「恐怖の大王」がおぞい、その前後、「マルス」(火星)軍神が世界を支配、結局「巨大なる光の反対のもの」がすべてを滅亡させてしまう。これが彼の予言のクライマックスになっている。

私はこれを、来るべき最終核戦争の様相か、又は大気汚染↓気象異変の極限におそつてくる破滅の暗示ではないかと「大予言」に書いた。右の年月の数字を西暦年号とすれば、それは今からわずか二十五年後の想定であり、当然、読者の反響もこの一点に集中してき

た。

「おそろしい。あたしは減びたくない。それまでジャンジャン恋愛をしてその日をむかえろ。子供なんか絶対に生まない。」(21歳・商社勤務のOL)

「ぼくはこんな予言なんか信じないが、現実がどんどんこの予言どうになつていけるのは事実だ。問題はそれをどうやって阻止するかということだ。」(26歳・公務員)

「ゾクゾクしておもしろかった。でもよく読んでみると、原文はともかく、解説にこじつけが多いみたい。」(20歳・女子大生)

「現代への挑戦状だ。このままではほんとうに滅亡するかも知れないのに、いまみたいな受験体制でいいのか。いまみたいな社会や政治でいいのか。」(14歳・中学生)

御禮

去る九月二十八日、バストスPLS会館に於いて、バストス対アラサツバ対抗、

バストス将棋倶楽部

将棋大会が盛大に挙行されました。

ノ口エステの雄、木庭四段も招待、パウリスタのメンバーも招き、七十名の棋士で行われ、バストスの優勝。左の方々から特別の御寄附を頂きました。

- 信太 高会 様
- 水口 商店 様
- 板垣 薬局 様
- 木下 (アラブアン) 様
- 加藤 与太郎 様
- 鶴 義男 様
- 高田 時計店 様
- 武田の親爺さんには特別御世になりました。

eもC。殺到した投書や電話など大別すると、私の本を「現代への警告だ」と受けとつてくれた人がいちはん多く、ただ「おそろしい」とだけ感じた人がそれにつき、以下信じられない「デタラメだ」「気分が悪くなつた」「この予言のようにならないように世界を変えろべきだ」といった声が多かった。

現在も多くの反響をいただいているが、こうした色分けは変っていない。年輩の方から小学生諸君まで、読者層はひろがり十代、二十代の若い人達が多くに多いのも大きな特徴である。

「これは科学への冒瀆だろうか」

一方、本が流布するにつれて、ジャーナリズムの一部からの批判もめだつて来た。たとえば週刊G誌は、わざわざ数ページの批判特集を組み、「大予言」はセンセーショナルだけを狙った有害な本だ、ときびしい攻勢をみせた。その核になつたのは、何人かの偉い学者と環境庁のお役人などのコメントである。

ある教授は、そのなかで「予言は歴史的现象を対象にすべきもので、自然現象までやるべきものではない。それは自然科学に対する越権行為だ」とお怒りになつた。

また環境庁のお役人は「汚染はわずかしかふえていない。だから汚染が人類を破滅させると断言された。」

つづく

補聴器 (はちょうき)

すこやかにあれど実家の母呆けて
われの名前を幾たびも訊く

誰れの詠んだ歌か、作者の名前を忘れたが、
つい最近古雑誌の短歌欄で読んだ歌だが、
その時はその作者の名をしかと覚えこんでお
いたつもりだが、一カ月以上経過した今日日
考えてみても、すでに亡却のかたに消えて
しまった。

この歌の作者は女性だ。久ぶりに里の母を
見舞ったが、母は健在であったが、すでに老
碌して自分の娘を見ても、それが誰であ
るか判らない。それで名前をきいたのであろ
う。

「お母さん、私ですよ、〇の子ですよ」
と教えても、一時間も過ると、また、
「あなた、どなたでしたかね？」
と問われる。それが幾たびともなると、娘
にとつては、云いようもない悲しみに襲われ
るだろう。

しかし、その老母は至極太平米だ。過去の
ことは喜びも悲しみも一切忘れて、現存縁に
世話になつてゐることさえ判らなければ何の
遠慮も気兼ねもない。耳が遠くて人の云うこ
と聞こえねば、何を云われても気にすること

御案内

来る十月十二日(日曜)子供の日に
夜七時半より 総合会館に於て
バストス日伯文化協会の御後援の

もとに
にろご ニーじどーり がくげいかい
日語校児童学芸会

を催しますので御案内申上げます。
尚、お願い申上げました協力券には
景品が準備されてありますので、同
夜は協力券をお忘れなく御持参下さ
い。

一九七五年十月一日

主催バストス日語普及会

ないから、たとえ悪口を言われていてもニコ
ニコしている。

息子や娘は親の老衰ぶりに淋しい思いをす
るであろうが、老衰は神から与えられた恩恵
で、決して悲しむべき問題ではないようだ。
それが半衰期のときがあつて、これが一番
困る。私の現在がそれだ。

何年か前のことだが、ロードピアリオで中
老の美しい婦人から声をかけられて困つたこ
とがあつた。

「宮武さん、暫くでした。お変わりもなくお達
者でおめでとうございます。奥さんもお元氣
でいらっしやいますか。」と丁寧な挨拶を受
けたが、さてこの人何誰であつたか、見たこ
とに確かにあるが、思い出せない。いい加減
に話を合はしてごまかそうと思つていたら、

子供のことで色々な質問があり、仕方なく、
「お見それ致して居りますが、どちらさんで
したか？」と訊かざるを得なくなつた。

その頃から老衰ははじまり、次第に人の顔
は覚えていても名前を忘れていたり、名前は
記憶にあるが、顔が思い出せないようになつ
てきた。

近頃は耳が遠くなり、小声の話はきこえな
くなり、だんだんと聞かなくなつた、いや、
聞こえないから、あきらめて聞かなくなつた。

しかし、聞こえないから聞かないですまざ
れない場合もある。先月サンパウロから娘た
ちが老父見舞に末てくれたとき、娘に補聴器
の値段を調べて手紙で知らしてくれとたのん
でおいた。

実は二年ほど前に知人が補聴器をかけてい
るので、私も欲しくなり、値段をきいてみた
ら、安い方なら一千五百セントぐらいから数
千セントもするということであつたので、そ
んな高価なものを買えないからあきらめてい
たが、近頃のつきりツンポになつたので、安
物でも買いたいと思つていたが、あまり高価
だと買えないので、値段だけしうべで貰うこ
とにした。

それから間もなく朝六時頃一外人が訪ねて
来て、私は補聴器の外交員で、君の娘さんに
たのまれて補聴器を君の耳に合わせに来た。
代金と出張費は娘さんかへ頂くことになつて
いて、値段父に言わないでくれと言われて来
たと云うのであつた。

何種類もある補聴器を試めして、私が一番
よくきこえるのを送り、ベッコで耳の穴の
型をとり持ち帰つて、一週間ほどすると、再
び来て耳に取り付けてくれた。

よくきこえる。前のパールで話している声
、電話も、犬の声も道を行人声も、何もかも
きこえすぎる。ホルメを最低に下げてもきこ
える。きこえなくてもよいことまできこえて、
わずらわしくなつて来た。きこえなかつたも
のが聞けることはありがたい。また外すと元
のつんぼになるが、つんぼも静かでありがたい
と思ふようになった。老化天国と云うべきか

勝南

Arviso de Cine Bastos

十月五日(日)九時半 六日(月)八時 監督 降旗康男
 東映 然色 総天 しのび恋 中島ゆたか 八代亜紀
 藤村有弘 梅宮辰夫 外名優連

十月七日(火)八時(水)両夜とも八時
 東映 然色 総天 つかみ出まか也 梅宮辰夫 安部 徹
 山城新伍 清川虹子 菅原文太
 大信田礼子 菅原文太

十月十日(金)八時、十一日(土)九時半
 東映 然色 総天 宮本武蔵 監督 稲垣 浩
 三船敏郎 小戸光子 八千草薫 岡田茉莉子 加藤大介
 菅原文太 三國連太郎 乗寺下り花から嵐流鳥の決斗へ、

十月十二日(日)九時半、十三日(月)八時
 東映 然色 総天 山田組外伝 監督 山下耕作
 菅原文太 橋本真紀 渡瀬恒彦 三島ゆり子
 若原中み 松方弘樹

十月十四日(火) 十五日(水)両夜とも八時
 東映 然色 総天 俺たちに墓はない 千葉真一 大塚早苗
 内田良平 有吉ひとみ 夏八木勲 水島道太郎
 目録は10億のダイヤを奪った奴ら刑事だから殺らんじやねえ、車と車のスピードが心を解わすんだ、

十月十七日(金)八時、十八日(土)九時半
 松竹 超特作 人間の條件 仲代達矢 中村玉緒
 新珠三千代 津川裕介 高峰秀子 二本柳寛
 美智子、生きていくくれ、愛する妻の幻影を辿って魂の叫び、

CAIA DO PNEUS S.A.

PRACA DA BANDEIRA 37 Fone; 2103 TUPA S.P.

PNEUS, CÂMARAS, ENCERADOS, RODAS e ACESSORIOS



カイアドプネウス

ツパン市、フラサダバンデイラ、三七番
 ツパン市電話二二〇三
 へ御用命下さい

好条件販売
 プネウス
 カマラス
 エンセラードス
 ローダス
 アッセソリーリオス等
 をプラトゾで、しかも
 無利子にて販売ノ
 その他御相談に志じ
 好条件にて奉仕販売
 致します

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Ad. Barros 213 Fone 154

テレビはカラー時代です
 カラー放送はカラーで見ること価値がある
 画面が鮮明、色が美しい、音が明瞭、
ステレオグラブドル
 完全音体音響のすばらしさ、実演、そのまま
 に音が再生されます、高崇愛好家に必需品、
超小型電気計算機
 カミーザのポルソに入る小型ながら高性能
 と堅牢さ、しまからは一家に一台是非必要
高級腕巻時計と懐中時計
 世界中の有名な時計が揃っております。
 ガスライタ各種・電気カミンリ、いろいろ
 めがね、ゆびわ、宝石、ミニリンネ機影
 機並びに映写機、自動式幻燈機、ラジオ
 大小各種・蓄音機・扇風機・陶磁器類
 装身具・装飾品、銀器、御進物用品
 ファッケーロ、お土産用品一切
 ルア、マルデバロス、二一三番地
レロインョアリアタカミ

柴田時計店

電話 一五四